

平成25年7月18日

保護者 様

仙台市立吉成小学校
校長 菊 地 博

仙台市生活・学習状況調査の結果（概要）について

1 仙台市生活・学習状況調査について

仙台市生活・学習状況調査は、以下の2点を目標とし、小学校2年～中学3年生を対象に、全市一斉に実施しているものです。

- (1) 「市の状況」との関係において、本校における学習状況や生活習慣等に関する取組の成果と課題を分析し、今後の指導の工夫・改善に生かす。
- (2) 児童一人一人の学習状況や生活習慣等を把握し、個に応じたきめ細やかな指導の充実に生かす。

内容は、「学校生活」「授業」「学習意欲」「家庭生活」「自由時間」「家庭学習等」「社会・地域とのかかわり」「道徳心・挑戦・夢」「自分づくり」に関する質問紙調査です。

2 本校における調査結果の概要と今後の方策について

結果の詳細については、5ページ以降の各学年の回答結果をご覧ください。ここでは、各学年の特徴的な傾向のうち、学校での指導に直結することについてのみ記します。

※ 回答結果の数値は、設問に対して「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合（％）です。

(1) 第2学年

番号	質 問	仙台市	本校	差
9	わからないことは、しらべたり、まわりの人にきいたりする。	86.6	79.4	-7.2
13	よいてんすうをとると、友だちや家の人から、「頭がいいね」といわれたことがある。	58.9	52.4	-6.5
14	よいてんすうをとると、友だちや家の人から、「がんばってべんきょうしているね」といわれたことがある。	60.6	66.7	6.1
39	ゆめやもくひょうを、もっている。	91.1	84.1	-7.0

「わからないことは、しらべたり、まわりの人にきいたりする。」と回答した児童の割合は79.4％ですが、市全体の割合を7.2ポイント下回っています。『よいてんすうをとると、友だちや家の人から、「頭がいいね」といわれたことがある。』は52.4％で、6.5ポイント下回っています。

『よいてんすうをとると、友だちや家の人から、「がんばってべんきょうしているね」といわれたことがある。』と回答した児童の割合は66.7％で、市全体の割合を6.1ポイント上回っています。

また、「ゆめやもくひょうをもっている。」と回答した児童の割合は84.1％で、市全体の割合を7ポイント下回っています。

低学年では、学ぶことの楽しさを実感させることが重要です。生活科などの体験を重視した学習を中心に、各教科において「なぜだろう？」と思う気持ちをふくらませることができるような指導の充実を引き続き図っていきます。

低学年においても、おおづかみに将来の夢や目標をもつことは大切です。道徳や自分づくり教育の充実を図りながら、意識させていきます。

また、仲間づくりを意識した指導の充実を図っていきます。

(2) 第3学年

番号	質 問	仙台市	本校	差
6	じぶんのゆめをかなえるために、たくさんべんきょうする。	87.6	81.0	-6.6
11	もっとよく知りたいことがあると、じっとしてられない。	77.4	71.2	-6.2
12	ものごとのしくみや、りゆうを、あれこれ考えるのはたのしい。	85.5	92.3	6.8
37	じぶんには、よいところがあるとおもう。	75.4	88.5	13.1

「じぶんのゆめをかなえるために、たくさんべんきょうする。」と回答した児童の割合は、81.0%で、市全体の割合を6.6ポイント下回っています。

また、「もっとよく知りたいことがあると、じっとしてられない。」と回答した児童の割合は71.2%で、市全体の割合を6.2ポイント下回っています。「ものごとのしくみや、りゆうを、あれこれ考えるのはたのしい。」と回答した児童の割合は92.3%で、市全体の割合を6.8ポイント上回っています。「じぶんには、よいところがあるとおもう。」と回答した児童の割合は88.5%で13.1ポイント上回っています。

道徳教育や自分づくり教育の充実を図ってきた成果がみられるようになり、昨年度と比較すると、自己肯定感が高まった児童がふえてきています。

今後も、学習意欲が高まるように、学ぶ楽しさが実感できるような授業づくりと、道徳教育や自分づくり教育の充実も図っていきます。

(3) 第4学年

番号	質 問	仙台市	本校	差
6	じぶんのゆめをかなえるために、たくさんべんきょうする。	87.6	81.0	-6.6
11	もっとよく知りたいことがあると、じっとしてられない。	72.0	66.7	-5.3
36	人がこまっている時は、すすんでたすけている。	83.4	90.5	7.1
39	ゆめやもくひょうをもっている。	91.0	81.0	-10

「じぶんのゆめをかなえるために、たくさんべんきょうする。」と回答した児童の割合が81%で、市全体の割合を6.6ポイント下回っています。「もっとよく知りたいことがあると、じっとしてられない。」と回答した児童は66.7%で、市全体の割合を5.3ポイント下回っています。

また、「人がこまっている時は、すすんでたすけている。」と回答した児童が90.5%で、市全体の割合を7.1ポイント上回っています。「ゆめやもくひょうをもっている。」と回答した児童は、81.0%で、市全体の割合を10ポイント下回っています。

昨年度と比較すると、11番、36番の設問に対する回答のポイントが上がってきています。学習意欲と思いやりの気持ちが向上してきています。意欲を確かな力として身に付けることができるように、引き続き、基礎・基本の活用を重視した授業や、探究的な学習

の充実に一層力を入れていきます。

(4) 第5学年

番号	質 問	仙台市	本校	差
18	わからないことをそのままにしておくのは、嫌いだ。	87.2	93.5	6.3
19	何かについて、もっと知りたいと思うと、じっとしてられない。	67.7	74.2	6.5
20	物事の仕組みや、理由について、いろいろ考えるのは楽しい。	80.7	87.1	6.4
25	夢をかなえるために、何をどのように勉強すれば良いのか、よく考える。	72.5	83.9	11.4

「わからないことをそのままにしておくのは、嫌いだ。」と回答した児童は、93.5%ですが、市全体の割合よりは6.3ポイント高くなっています。「何かについて、もっと知りたいと思うと、じっとしてられない。」と回答した児童は74.2%ですが、市全体の割合よりは6.5ポイント高くなっています。

「物事の仕組みや、理由について、いろいろ考えるのは楽しい。」と回答した児童の割合は87.1%で、市全体の割合を6.4ポイント上回っています。

「夢をかなえるために、何をどのように勉強すれば良いのか、よく考える。」と回答した児童の割合は83.9%で市全体の割合より11.4ポイント上回っています。

学習意欲が高いので、その意欲を確かな力として身につけることができるように、今後も、基礎・基本の活用を重視した授業や、探求的な学習の充実に一層力を入れていきます。

(5) 第6学年

番号	質 問	仙台市	本校	差
10	勉強を通して、新しいことが分かるようになるのは、楽しい。	89.8	77.3	-12.5
13	自分が世の中の役に立てるように、勉強をがんばる。	75.2	63.6	-11.6
16	疑問に思ったことは、調べたり、人に聞いたりする。	85.8	90.9	5.1
65	みんなと意見が違っていても、自分の意見を話す。	57.7	50.0	-7.7

「勉強を通して、新しいことが分かるようになるのは、楽しい。」と回答した児童が77.3%で、市全体の割合に比べ12.5%下回っています。また、「自分が世の中の役に立てるように、勉強をがんばる。」と回答した児童は63.6%で、市全体の割合に比べ11.6ポイント下回っています。

「疑問に思ったことは、調べたり、人に聞いたりする。」と回答した児童は90.9%で、市全体の割合に比べ5.1ポイント上回っています。「みんなと意見が違っていても、自分の意見を話す。」と回答した児童は50.0%で、市全体の割合に比べ7.7ポイント下回っています。

学習意欲を高めるため、高学年教科担任制の充実を図りながら、教科学習の魅力を高めています。

また、自分と違う考えを受け入れ、よりよい考えを創り出せるような、話し合い活動の工夫等を進めていきます。特に、「たくましく生きる力育成プログラム」等を活用した授業をとおして、多様性の理解が進むように働きかけていきます。

復興プロジェクトへの参加や、被災された方々へのかかわりを持たせながら世の中の役に立っているという意識を向上させていきます。